

## 牛に興味津津 生産者が解説

三重県大紀町立  
七保小学校

【三重・伊勢】大紀町立七保小学校の3、4年生の計17人が6月



生産者から説明を受ける児童

上旬、大紀町にあるJA伊勢七保和牛部会の北村幸成さんと牛鳴フアームの牛舎を訪れた。事前学習として、JAの職員が授業を行った。

児童らは、生産者から説明を受けながら牛舎を見学。「牛が鼻輪をしているのは、なぜ

ですか」「牛の育て方で大切にしていることは何ですか」など積極的に質問をしていた。

児童の一人は「想像していたよりも、牛が大きくてびっくりした」と話した。対応に当たったJAの職員は「牛舎を見学し、牛と触れ合うことで、地元の特産に興味を持ってもらえればうれしい」と話した。

これは、総合的な学習の授業の一環で、地域の伝統産業である松阪牛の肥育について学ぶことが狙いだ。